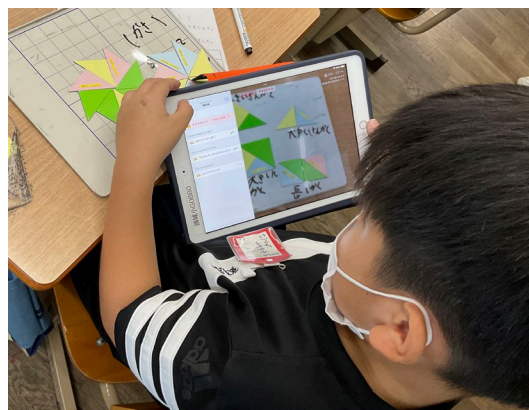


令和4年度 浦添市 ICT エバンジェリスト実践事例集



浦添市立教育研究所

「浦添市ICTエバンジェリスト」設置要項

令和4年 4月1日
浦添市立教育研究所

1 設置者

浦添市立教育研究所

2 設置目的

浦添市にICT教育を普及させることを目的として、「浦添市ICTエバンジェリスト」を任命し、授業への積極的なICT活用の実践、市立各小中学校の情報共有を行なうことで、各学校の情報教育推進をリードする。

3 選定方法

上記目的を実現可能な教諭を、学校長より別紙様式にて推薦していただき、教育研究所へ提出する。教育研究所で審議後、推薦者を任命する。

4 任期

任期は1年とし、再任は妨げない。

5 活動内容

- (1) 所属校で、積極的にタブレット端末等を活用した授業を実践する。
- (2) 校内で、タブレット端末等を活用した授業アイデアを職員へ提供する。
- (3) 教育研究所主催のエバンジェリスト研修会に可能な限り参加し、エバンジェリスト間で情報交換やICT機器活用の最新情報の収集等を行う。
- (4) 年に数回公開授業を行う（指導案の有無は問わない）。
- (5) 他校のタブレット端末等を活用した授業を可能な限り参観する。
- (6) ICT活用実践事例（A4様式）を作成し、提出する。
- (7) 研修会や発表会等で、実践事例を可能な限り発表する。

6 活動期間

平成28年5月より活動を開始する。

※ 令和4年 4月一部内容改訂

令和4年度 浦添市ICTエバンジェリスト 年間活動実績

No.	内容	日	場 所	概 要
1	推薦依頼	4月5日		各学校へ令和4年度浦添市ICTエバンジェリストの推薦依頼文を送付
2	決定通知の送付	4月26日		学校長より推薦のあった市内小中学校26名に決定通知を送付
3	第1回研修会(発足式)	5月9日	教育研究所 研修室	委嘱状の交付、自己紹介、趣旨説明、演習「ロイロノートの活用方法」講師 澁谷洋平氏 (Loiro)
4	エバンジェリスト公開授業①	6月16日	港川小学校	国語 ロイロノートの活用(シンキングツール)
5	エバンジェリスト公開授業②	6月17日	宮城小学校	国語 ロイロノートの活用(シンキングツール、録音機能)
6	第2回研修会	6月20日	各所属校(オンライン研修)	演習「Keynoteを活用した共同作業」講師 吉岡麻実氏 (Apple)
7	エバンジェリスト公開授業③	6月27日	仲西中学校	英語 ロイロノートの活用(発表シート作成、共有)
8	エバンジェリスト公開授業④	6月27日	神森中学校	数学 ロイロノートの活用(拡大表示、共有)
9	エバンジェリスト公開授業⑤	7月1日	浦西中学校	保健体育 ロイロノートの活用(調べたことの共有)
10	エバンジェリスト公開授業⑥	9月12日	仲西小学校	外国語活動 ロイロノートの活用(録画、共有、オリジナルワークシートの作成・配布)
11	エバンジェリスト公開授業⑦	9月16日	宮城小学校	外国語 ロイロノートの活用(発表シート作成)
12	エバンジェリスト公開授業⑧	9月20日	浦添中学校	数学 ロイロノートの活用(共有ノート)
13	エバンジェリスト公開授業⑨	9月21日	浦添中学校	道徳 ロイロノートの活用(共有ノート)
14	エバンジェリスト公開授業⑩	9月29日	仲西中学校	社会 ロイロノートの活用(シンキングツール、共有ノート)
15	エバンジェリスト公開授業⑪	9月30日	沢岷小学校	国語 ロイロノートの活用(共有ノート)
16	第3回研修会	8月5日	教育研究所 研修室	演習「ロイロノートの活用方法(共有ノート)」講師 金城清香氏(浦添市立沢岷小学校)
17	エバンジェリスト公開授業⑫	10月25日	港川小学校	図工 ロイロノートの活用(写真への書き込み、提出、共有)
18	エバンジェリスト公開授業⑬	10月28日	宮城小学校	社会 ロイロノートの活用(共有ノート)
19	エバンジェリスト公開授業⑭	11月9日	浦城小学校	算数 ロイロノートの活用(撮影、提出)
20	エバンジェリスト公開授業⑮	11月21日	内間小学校	社会 クイズアプリ「Kahoot!」とオンライン掲示板アプリ「Padlet」の活用
21	エバンジェリスト公開授業⑯	11月29日	神森小学校	総合 ロイロノートの活用(シンキングツール、共有ノート、発表シート作成)
22	エバンジェリスト公開授業⑰	12月20日	浦城小学校	社会 ロイロノートの活用(共有ノート)
23	エバンジェリスト公開授業⑱	12月20日	浦添小学校	体育 ロイロノートの活用(撮影、提出、共有)

令和4年度 浦添市ICTエバンジェリスト 年間活動実績

No.	内容	日	場 所	概 要
24	第4回研修会	1月17日	教育研究所 研修室	実践事例紹介（宮城小 伊地教諭、沢岨小 片桐教諭、仲西中 仲村教諭、浦西中 銘対教諭）
25	エバンジェリスト公開授業②	1月19日	沢岨小学校	国語 ロイロノートの活用（共有ノート）
26	エバンジェリスト公開授業②	2月1日	牧港小学校	算数 ロイロノートの活用（オリジナルワークシートへの書き込み、提出、共有）
27	エバンジェリスト公開授業②	2月6日	前田小学校	総合 ロイロノートの活用（発表シートへの作成、シンキングツール、アンケート機能）
28	エバンジェリスト公開授業③	2月8日	港川中学校	社会 ロイロノートの活用（共有ノート、シンキングツール）
29	エバンジェリスト公開授業②	2月15日	浦添小学校	自立活動 ロイロノートの活用（シンキングツール、提出、共有）
30	エバンジェリスト公開授業⑤	2月21日	浦城小学校	体育 ロイロノートの活用（作戦シートへの作成、活用）
31	第5回研修会	2月24日	教育研究所 研修室	令和4年度のふり返り、グループ討議「ICTを効果的に授業活用するために」
32	エバンジェリスト授業（公開なし）	11月10日	浦西中学校	志堅原基貴 保健体育 ロイロノートの活用（共有ノート）
33	エバンジェリスト実践事例集の提出	3月13日		今年度の実践事例を集め、実践事例集として周知する。

令和4年度を振り返って



5 / 9 発足式および第1回研修会
ロイロノート活用方法 (Loilo 澁谷氏)

令和4年度を振り返って

5 / 9 発足式および第1回研修会
ロイロノート活用方法 (Loilo 澁谷氏)

【主なふり返し】

- 双方向授業を目指して、児童が学習したことを問題作成に活かしたり、みんなで作成した問題を解きあったりと多角的に学べるツールとして活用していきたい。
- シンキングツールやクイズ機能などを活用して、学習意欲を高める授業をしていきたいです。
- まずは今日受けた研修のような形を子供たちにやってみます
- 算数や道徳等で、個々の考えを発表する場面で活用してみたいと思います
- とても便利で可能性の広がるアプリだと思うが、アプリを使う事ではなくて、アプリを使って子どもたちの学びを充実させることが大切だとも思った。
- 主にプレゼン的な役割での活用しか知りませんでした。アンケートやテストなど、さまざまな活用方法があるとわかりました。実際に授業でも取り入れていきたいです。

令和4年度を振り返って

6 / 20 • 第2回研修会 (オンライン)
演習「iPadを使って共同作業をしてみよう」

株式会社 Apple 吉岡 麻実 氏

【主なふり返り】

- 双方向授業を目指して、児童が学習したことを問題作成に活かしたり、みんなで作成した問題を解きあったりと多角的に学べるツールとして活用していきたい。
- シンキングツールやクイズ機能などを活用して、学習意欲を高める授業をしていきたいです。
- まずは今日受けた研修のような形を子供たちにやってみます
- 算数や道徳等で、個々の考えを発表する場面で活用してみたいと思います
- とても便利で可能性の広がるアプリだと思うが、アプリを使う事ではなくて、アプリを使って子どもたちの学びを充実させることが大切だとも思った。
- 主にプレゼン的な役割での活用しか知りませんでした。アンケートやテストなど、さまざまな活用方法があるとわかりました。実際に授業でも取り入れていきたいです。

令和4年度を振り返って



10 / 19 第3回研修会
「ロイロノートの活用 (共有ノート)」
浦添市立沢岬小学校 金城 清香 教諭

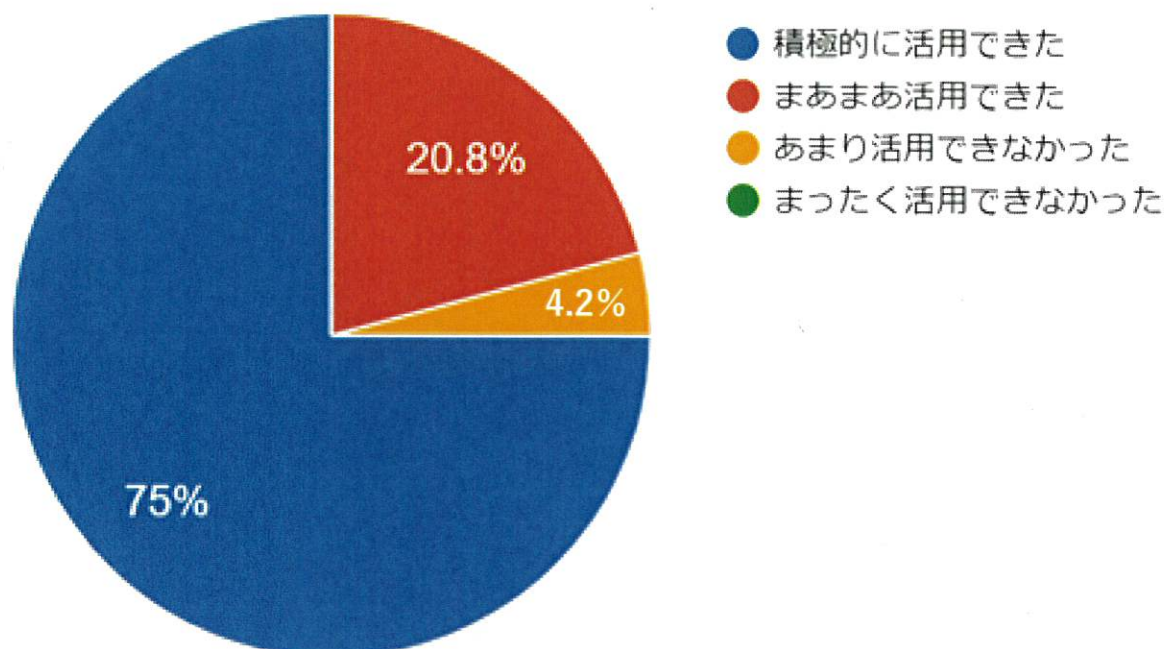
令和4年度を振り返って



1 / 17 第4回研修会「ICT機器を活用した実践事例紹介」

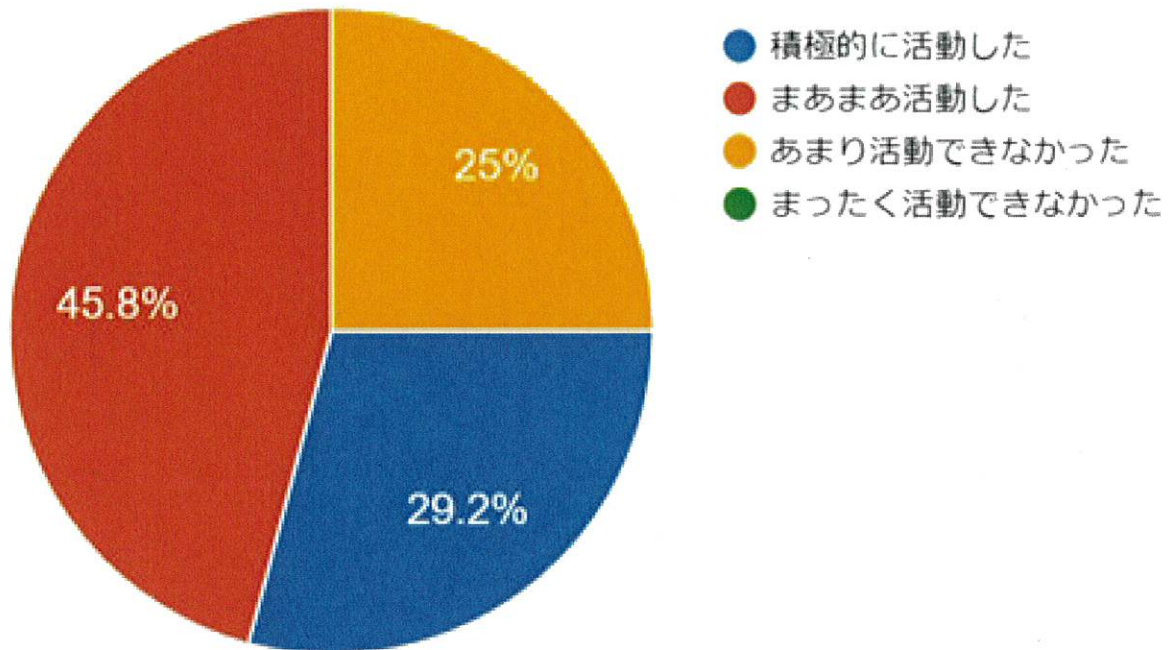
令和4年度を振り返って

授業の中でのタブレット端末（iPad）の活用状況はどうでしたか。



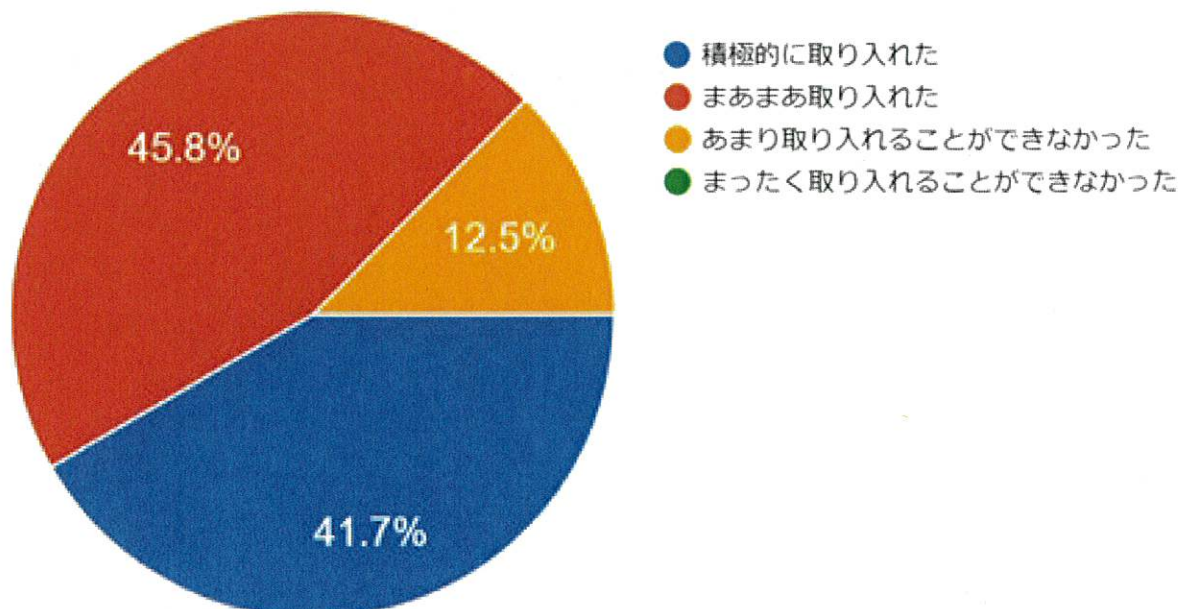
令和4年度を振り返って

ICTの活用事例やスキルの伝達等、自校の情報教育の推進への活動はどうでしたか。



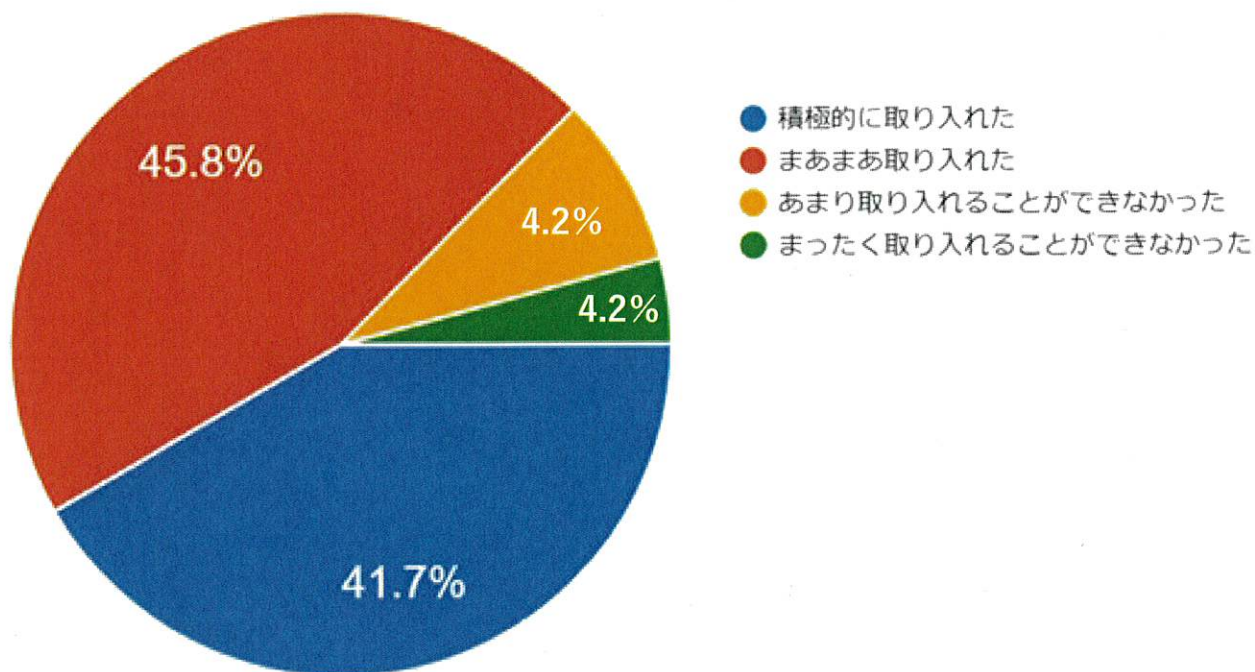
令和4年度を振り返って

研修で学んだタブレット端末の活用方法（ロイロの共有ノートやシンキングツール、Keynoteを使って共同作業等）を授業に取り入れることができましたか。



令和4年度を振り返って

他のエバンジェリストの実践を自分の実践に取り入れることができましたか。



令和4年度を振り返って

成果

- ICT機器を活用することで、子どもたちの思考の見取りもしやすくなった。
- ロイロノート、iPadの便利さを子どもが実感し、授業以外でも子どもたちが主体的に工夫して活用している。
- 共有ノートの活用により、協働的な学びの場面で他者の考えと比較しながら、考えることができた。
- 生徒自身が自ら考えて、シンキングツールを活用したり、教科だけでなく、学活や総合で社会の授業で学んだことをベースとしてプレゼン等を作成できていたことに特に成果を感じました。
- ICT機器自体に抵抗がなくなった。
- タブレット端末活用に抵抗のある先生方への支援を行うことができた。




成果と課題

成果

1. 公開授業16回（+未公開3回）の実施
2. 全6回のエバンジェリスト研修会を開催し、エバンジェリストのスキルアップを図った。
3. 各学校でエバンジェリストがリードし、情報教育を推進している。

課題


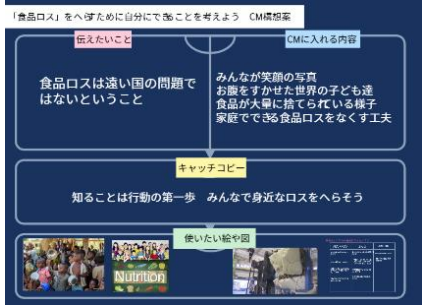

1. 公開授業への他校からの参加が少ない。
2. ICTエバンジェリストの活動や効果があまり見えないという意見もある。
3. 「まず活用する」事例から「効果的な活用」事例へ

学 校 名	浦添市立浦添小学校	授 業 者	大濱 和音
対 象 学 年	チャレンジ6組（4年生）	教 科 等	自立活動
活 動 名	自分や友達のいいところ見つけ		
I C T 環 境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad（ロイロノート） <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
本時のめあて	① 自分や友達のいいところを知ろう。 ② 自分のいいところをもっと伸ばすためにできることを考えよう。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	前時：友達のいいところをシンキングツール（ウェビング）にまとめる。 本時：友達に書いてもらった自分のいいところを見合う。（共有ノート） 自分のいいところを伸ばすためにできることをシンキングツール（くらげチャート）にまとめる。		
指 導 の 流 れ	<ol style="list-style-type: none"> めあてを確認する。 <ol style="list-style-type: none"> 自分のいいところを知ろう。 自分のいいところをもっと伸ばすためにできることを考えよう。 友達に書いてもらった自分のいいところを見る。（共有ノート） <ul style="list-style-type: none"> みんなで友達のよさを共有し、自分や友達のよさを改めて知る。 自分のいいところをまとめる。（ペア・グループ） <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> 自分のいいところをもっと伸ばすためにできることを考え、くらげチャートにまとめる。（個人） <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> 発表する。 		
指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> 自分や友達のいいところを見つけようとする学習環境をみんなで作る。（掲示） 日常的にタブレットを活用し、ロイロノート（シンキングツール）に慣れさせておく。 共有ノートを使用する際は、タブレットを使う人を指名する。 個人での活動を設けているが、思い浮かばない時は友達に相談してよいことを伝える。 		

学 校 名	浦添市立浦添小学校	授 業 者	具志堅 太一
対 象 学 年	6年	教 科 等	体育
活 動 名	跳び箱運動 「どうやったら、跳び越えてピタッと止まれるか」		
ICT環境	□電子黒板 ■iPad（ロイロノート） □AppleTV ■実物投影機 □デジタル教科書 □デジタルコンテンツ（ ） □その他（ ）		
本時のめあて	技にチャレンジし、自分の「できる」を増やそう。		
ICT機器の活用場面	【導入】技のコツを共有する場面 【展開】技を撮影し、お手本動画と比較する場面 【終末】振り返りの場面		
指導の流れ	<p>1 パワーアップタイム</p> <ul style="list-style-type: none">・アザラシ、クマ、クモ、ウサギ、カエルの足打ち ペア連続馬跳び、サーキット <p>2 全体ミーティング</p> <ul style="list-style-type: none">・前時の振り返り、技のコツの共有、めあての確認。 <p>3 活動①</p> <ul style="list-style-type: none">・技のコツやポイントをもとに、自分が選んだ技に挑戦。・友だちと見合ったり、練習方法を工夫したりして、自分の「できる」を増やす。 <p>※「できる」の例</p> <ul style="list-style-type: none">・技ができる・友だちと教え合いができる・あきらめずにできる・自分に合った工夫ができる・自分の課題や技のコツを見つけることができる <p>4 キラリタイム</p> <ul style="list-style-type: none">・自分の「できる」を増やしているグループの紹介。 <p>5 活動②</p> <ul style="list-style-type: none">・友だち同士で、回転系の技を撮影。・撮影した動画は、ロイロノートで提出。 <p>6 全体ミーティング</p> <ul style="list-style-type: none">・自分の「できる」を増やせたか、個人のめあてが達成できたかについて振り返る。		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none">・技を見合う際は「着手」や「空中姿勢」など、技のどの場面を見てほしいか相手に伝えさせるようにする。・児童が個人のめあてに向かって試行錯誤している姿を見取り、評価につなげられるようにする。		








学 校 名	仲西小学校	授 業 者	比嘉 恵理 棚原 智子 (AET)
対 象 学 年	4 学年	教 科 等	外国語活動
単 元 名	Do you have a pen?		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ロイロノート) <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	お友達に、ほしい文房具を尋ねたり答えたりしよう。		
ICT機器の活用場面	【導入】 単元を通した宿題、チャンツの動画撮影。 【展開】 単語ビンゴゲーム。 ペア学習のやりとりで、同じ文房具セットを作る。		
指導の流れ	【導入】 ①Let's Chant 宿題に出したチャンツの動画を見合い、発語の良さを評価し意欲を高める。  ② Teacher's Talk ほしい文房具を尋ねたり答えたり。→めあての確認。 【展開】 ③Practice 本単元の単語の練習  ④Let's Play 単語ビンゴゲーム。ロイロノートでビンゴを楽しむ。 ⑤Activity やりとり。ペアと同じ文房具セットを作ろう。 お互いに英語でやりとりし、ペアの児童が作ったセットと同じセットを作る。  ⑥振り返り		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題は提出を促し、全員を価値付けられるようにする。 ・ペア同士でカードを送り合う場面を設定すると意欲がさらに増すが、生徒間通信をオフにした場合は、オンにすることを忘れないようにする。 		

<p>学 校 名</p>	<p>神森小学校</p>	<p>授 業 者</p>	<p>中泉 和美</p>
<p>対 象 学 年</p>	<p>4 年</p>	<p>教 科 等</p>	<p>総合的な学習の時間</p>
<p>単 元 名</p>	<p>「食品ロス」をへらすために自分にできることを考えよう</p>		
<p>I C T 環 境</p>	<p>■電子黒板 ■iPad（ロイロノート） ■AppleTV □実物投影機 □デジタル教科書 □デジタルコンテンツ（ ） □その他（ ）</p>		
<p>本時のめあて</p>	<p>学習したことを整理し、伝えたいことが皆に伝わる工夫（思考ツール等）を考え、CMの構想案をグループで考えよう。</p>		
<p>I C T 機 器 の 活 用 場 面</p>	<p>①前時までの流れを振り返る。（電子黒板） ②メッセージ性のあるCMの例を見せ、一番伝えたいことがどのように表されているのか考えさせる。（ロイロノート） ③伝えたいことやCMに入れる内容、キャッチコピー、使いたい絵や図を考える（ロイロ共有ノート） ④CM構想案の途中経過を共有し、助言し合う。（ロイロ共有ノート）</p>		
<p>指 導 の 流 れ</p>	<p>1 前時の振り返り （これまでの学習の画像や、児童がまとめたポートフォリオから学習の流れを想起させる）</p> <p>2 テーマ みんなに伝えたいことをCMにしよう。</p>  <p>3 CMの例を見る メッセージ性のあるCMの例を見せ、一番伝えたいことがどのように表されているのか考えさせる。 ・あまりに多くの情報があると伝わらないことを押さえ、条件を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>条件 内容・・・学習したことから、伝えたいことがきちんと伝わっている 写真映像・・・伝えたいことが一目でわかるもの（相手に伝わる写真・映像） キャッチコピー・・・分かりやすい印象に残りやすい</p> </div>  <p>4 CMの構想案を考える。 ・伝えたいことやCMに入れる内容、キャッチコピー、使いたい絵や図を考える。（すぐできる工夫を紹介するCM） （みんなで考えようと訴えるCM） （他の国の工夫を伝えるCM） （給食などの身近な取り組みを伝えるCM）等</p>  <p>5 構想案を見比べて助言し合う。</p> <p>6 ふりかえり（全体共有）</p>		
<p>指 導 上 の 留 意 点</p>	<p>○共有ノートを活用する際は、役割を決めて取り組めるように声をかける。 ○共有ノートで他のグループの考えも参考として見るができるようにする。 ○これまで学習したことの振り返りや、収集した資料のポートフォリオを使ってCMの構想案を立てるよう助言する。</p>		

学 校 名	浦添市立浦城小学校	授 業 者	友寄 舞美
対 象 学 年	1 年	教 科 等	算数
単 元 名	かたちづくり		
I C T 環 境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ロイロノート) <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	色板を使って、いろいろな形を作ることに興味・関心を持ち、意欲的に図形の構成に取り組むことができる。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	展開：①児童の作成した形を iPad で撮り、電子黒板で共有する。 ②児童が作成した形を iPad で撮り、ロイロノートで提出し、全体で共有する。		
指 導 の 流 れ	<p>1. 導入 (1) 前時で確認した形を示し、複数枚の色板を組み合わせることで色々な形ができることを確認する。</p> <p>2. めあて 並べ方を考えて、いろいろな形をつくろう。</p> <p>3. 展開 (1) 問題 1：いろいろな形を作りましょう。 ① ㊸～㊻の色板で作った形を提示し、何の形に見えるか、考える。 ② ㊸～㊻の色板の作り方を考える。 ③ ㊸～㊻、㊼・㊾の形の作り方を考え、説明する。 (2) 問題 2：色板を並べて、自分の好きな形を作る。 ① 自分の好きな形を作る。 ② ロイロノートを使って、自分の作品を撮影し、教師へ送り、全体で共有する。</p> <p>4. まとめ：色板を並べると、いろいろな形ができる。</p> <p>5. ふりかえり</p>		
指 導 上 の 留 意 点	<p>○作った形を共有する際に、形に使われている「四角」や「三角」が見える化できるように、写真に線を書き込む。</p> <p>○日頃からロイロを活用し、写真を撮る、提出するなどの作業に慣れさせておく。</p>		

学 校 名	浦城小学校	授 業 者	新川 大貴
対 象 学 年	4 学年	教 科 等	体育
単 元 名	キャッチバレーボール		
I C T 環 境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ロイロノート) <input type="checkbox"/> AppleTV <input checked="" type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	相手のコートにボールを落とすにはどうしたらいいか考えよう。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	1 単元を通した振り返りシートをロイロノートのテキストで作成し、毎時間の振り返りから、次時の問いやめあてを児童自ら立てられるようにする。 2 実物投影機（プロジェクター）を使って活動の流れを視覚的に理解させる。 3 ロイロノートで作戦ボードを操作し、児童の思考を可視化し、自分の考えを表現しやすくする。		
指 導 の 流 れ	1 準備運動 2 ステップアップ運動 (1) ボール投げ・キャッチ (2) サーブ (3) アタック (4) パス（トス）・キャッチ 3 めあての確認 4 ミニゲーム 1 (1) 作戦の確認 (2) ミニゲーム (3) 振り返り 5 ミニゲーム 2 (1) 作戦の確認 (2) ミニゲーム 6 振り返り		
指 導 上 の 留 意 点	○児童が自分の学びを継続的にふり返ることが出来るように、振り返りのシートはテキスト1枚に書き込めるようにする。 ○必要がない時以外は使用せず、活動量が減らないように留意する。		

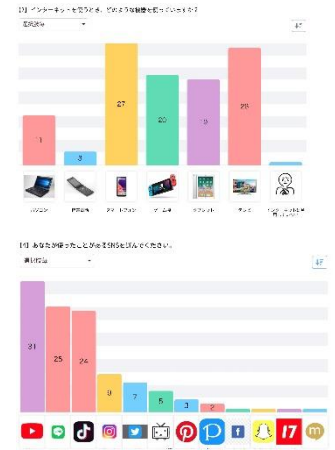



学校名	浦城小学校	授業者	根間春奈
対象学年	6年	教科等	社会
単元名	明治の新しい国づくり		
ICT環境	■電子黒板 ■iPad (ロイロノート) ■AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	明治時代になって、人々の暮らしはどのように変わったのか調べよう。		
ICT機器の活用場面	① 前時までの流れを振り返る。(児童がロイロにまとめたスライド) ② 絵を見て気づいたことを共有する。(ロイロの共有ノートの活用) ③ テーマについて調べ、まとめ、発表する。(ロイロ共有ノート、電子黒板)		
指導の流れ	1 前時の振り返り (児童が前時までにならまとめたスライドを活用) 2 めあて  3 明治時代の東京の絵から変化の様子を読み取り、共有する。   4 気づきをテーマごとに整理する。 5 それぞれのテーマをもとに、グループで調べ、共有ノートにまとめる。 6 調べてまとめたことを発表する。(全体共有)   7 まとめ 8 振り返り		
指導上の	○共有ノートを活用する際は、役割を決めて、取り組めるように声をかける。 ○気づきを発表するときは、発表者が着目している所を全体で把握できるように		



学 校 名	浦添市牧港小学校	授 業 者	塩田 隆平
対 象 学 年	第3学年	教 科 等	算数
単 元 名	みらいへのつばさ		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ロイロノート) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	自分の生活を見直そう。		
ICT機器の活用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・問題把握の場面で、電子黒板で前時の図を示し、よく観察させた後、意見交流をさせる。 ・ロイロノートを使って、図形に書き込み、考えをまとめる。 ・児童同士の話し合いの際に、ipadの共有画面を見ながら聞き、考えの理解を深める。 ・友達からのアドバイスをもとに、ロイロノートで考えを見直す。 		
指導の流れ	<ol style="list-style-type: none"> ① 前時の図の確認を行い、問題を把握する。 <ul style="list-style-type: none"> ・前時の図をもとに、一日の生活について考えさせる。 T：一日の生活の計画を立てるには、どんなことを考えたらいいかな。 ② めあての確認 ③ 規則正しく生活するという視点で、話し合わせる。 ④ ノートに自分の生活で気を付けることを書きだす。 ⑤ ロイロノートを使って、自分の考えを図に表しまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・図は提出箱に出し、学級全体で共有する。 ⑥ 自分の考えを友達と共有し、見直す。 ⑦ まとめ ⑧ 振り返り 		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○提出箱を活用し、児童の様子を確認し、児童の考えを全体共有する。また、机間指導を通して、活動が止まっている児童に助言を行う。 ○ロイロノートで図を作っていく活動を日頃から行う。 ○iPadを使う際のルール（話を聞く時には、画面を閉じる等）を徹底して守る 		

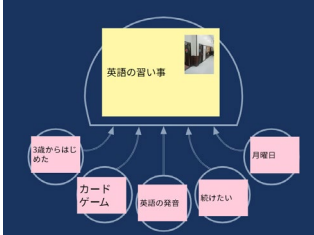




<p>学校名</p>	<p>浦添市立当山小学校</p>	<p>授業者</p>	<p>大城 舞</p>
<p>対象学年</p>	<p>6学年</p>	<p>教科等</p>	<p>道徳</p>
<p>単元名 会話のゆくえ (善悪の判断、自律、自由と責任)</p>			
<p>ICT環境</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/>iPad (ロイロノート) <input checked="" type="checkbox"/>AppleTV <input type="checkbox"/>実物投影機 <input checked="" type="checkbox"/>デジタル教科書 <input type="checkbox"/>デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/>その他 ()</p>		
<p>本時のめあて</p>	<p>物事の善悪についての確に判断し、集団としての規則やルールを守ることが大切であることを知り、責任と規律ある行動を取ろうとする態度を養う。</p>		
<p>ICT機器の活用場面</p>	<p>①ロイロノートのアンケート機能を活用し、学級の実態を確認する。 ②シンキングツール (バタフライチャート) にて、思考を整理する。</p>		
<p>指導の流れ</p>	<p>導入</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インターネット利用の実態を確認する <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果を見る (ロイロ：アンケート) ・インターネットが原因で起こるトラブルを出し合う <p>展開</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 教材を範読する 3. なぜ、このようなことが起きたのか。【共有ノートを活用したグループ交流】 誰の発言が問題だったのか。(ロイロ：バタフライチャート) 4. 全体共有 電子黒板を活用して視覚的に行う。 (電子教科書、ロイロノート) <p>終末</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. ふりかえり 本時の授業で考えたことを自分の生活と結び付けながら振り返る 		
<p>指導上の留意点</p>	<p>共有ノートの活用当初は全員が操作し混乱が起こることが予想される。実際に使いづらさを体感させ、それを解消するためのルールが児童から出てくるようにすると活用しやすくなる。</p>		



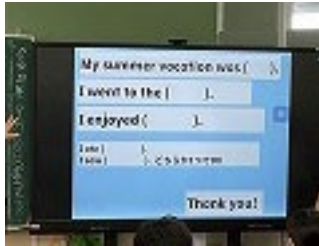


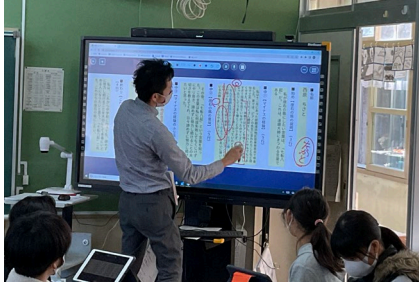

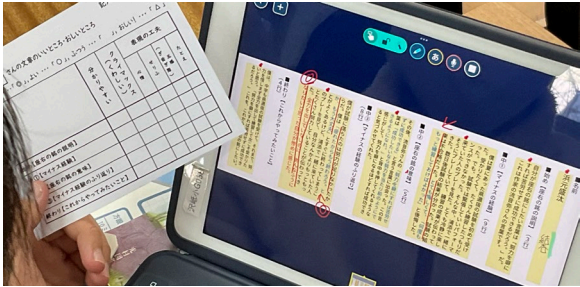


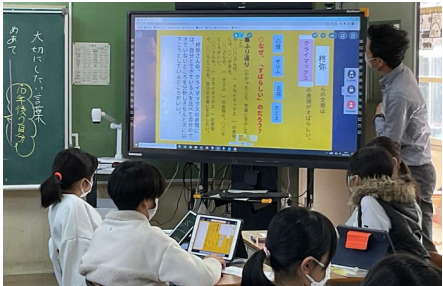
学 校 名	浦添市立内間小学校	授 業 者	喜舎場 光紀
対 象 学 年	6 年	教 科 等	社会
単 元 名	全国統一への動き		
I C T 環 境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input checked="" type="checkbox"/> デジタルコンテンツ (『Kahoot!』『Padlet』) <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	織田信長の政策について調べる		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	<ul style="list-style-type: none"> ・導入：クイズアプリ『Kahoot!』を使い、前時までの復習 ・展開：本時で学んだことを元に『Kahoot!』でクイズづくり →作ったクイズをやって、本時の復習。 ・振り返り：『Padlet』で、振り返り。児童間交流&教師からのフィードバック 		
指 導 の 流 れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 導入 <ul style="list-style-type: none"> (1) クイズアプリ『Kahoot!』で、前時までの復習をする。 2. 展開 <ul style="list-style-type: none"> (1) めあて：織田信長の政策について調べる。 (2) 本時の学習 <ul style="list-style-type: none"> ・単元全体の歴史の流れ（板書）を iPad で各児童が表示。 時系列を確認しながら、本時の確認をする。 ・「商工業」「キリスト教」という本時のキーワードについて解説し板書でまとめる。 3. まとめ：織田信長は、商工業に力を入れたり、キリスト教を保護したりするなど、新しい取り組みで全国統一を目指した。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 本時のポイントをまとめ、説明させる。 (2) 本時のポイントを『Kahoot!』でクイズにする。 (3) 作成した『Kahoot!』を行い、本時の復習をする。 4. 振り返り <ul style="list-style-type: none"> (1) 『Padlet』で振り返りを書く (2) 互いに振り返りを見合い、交流する。 (3) 教師からのフィードバックを行う。 		
			
指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ・『Kahoot!』『Padlet』ともにクラウド上のサービスなので、ネット環境により接続に時間がかかる場合がある。 ・『Kahoot!』は、毎時間まとめの際に追加していき、復習に使う。宿題も可。 ・『Padlet』は、互いの振り返りが見え、友達が本時で考えたこと・感じたことを共有できる。それに対し、コメントや「いいね」を児童間で行ったり、教師からフィードバックしながら、歴史についての話題や興味を広げていく。 		


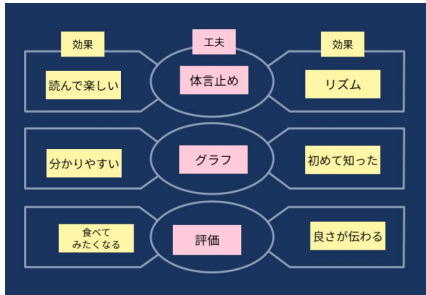



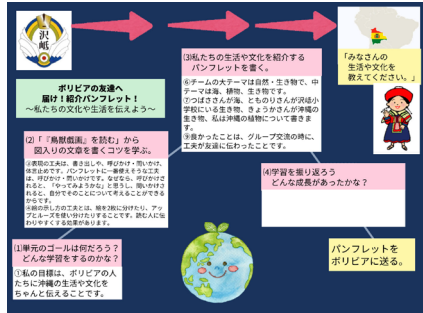
学 校 名	浦添市港川小学校	授 業 者	桃原 絵里菜
対 象 学 年	1 年	教 科 等	図工
単 元 名	すきまちゃんの すきな すきま		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	「すきまちゃん」がすきなすきまはどこかな？		
ICT機器の活用場面	<p>○導入：教師用の iPad で撮影した「すきまちゃん」が隠れている写真を、電子黒板にミラーリングし、どの隙間に「すきまちゃん」が隠れているかを考えさせる。</p> <p>○展開：教室の中の隙間を探し、自分で作った「すきまちゃん」を配置して iPad で写真を撮影。撮った写真は、提出箱に提出。</p> <p>○終末：提出箱に送った写真を、みんなで共有。</p>		
指導の流れ	<p>【導入】</p> <ol style="list-style-type: none"> 身の回りの写真を見せ、どの隙間にすきまちゃんが隠れているのかを考える。 めあてを確認する。 <p>【展開】</p> <ol style="list-style-type: none"> すきまちゃんを作成する。 <ul style="list-style-type: none"> ○すきまテープとモールを配布し作成する。 教室の中にある隙間を探し、すきまちゃんを配置してアイパッドで写真をとる。 撮った写真にタイトルをつけ、ロイロノートで提出箱に送る。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <ol style="list-style-type: none"> 友達の作品（写真）を鑑賞する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【終末】</p> <ol style="list-style-type: none"> まとめを確認する。 ふりかえり <ul style="list-style-type: none"> ○次時は、友達の作品をじっくり鑑賞することを伝え、次時への期待を持たせる。 		
指導上の留意点	<p>○写真のアプリからではなく、ロイロノートのアプリを活用して写真を撮り、撮った写真を提出箱に送らせる。</p> <p>○操作が上手いできない児童がいないか見回りながら、適宜手助けをする。</p>		


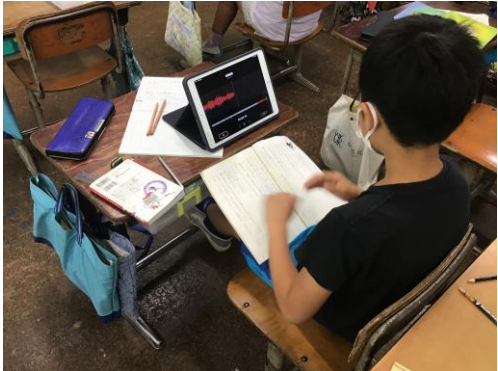
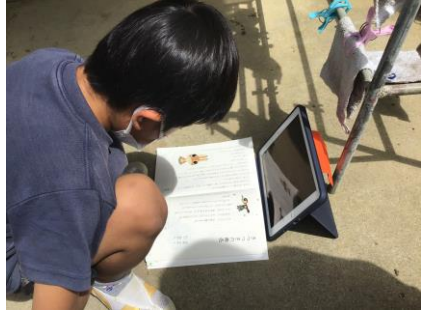
学 校 名	浦添市立宮城小学校	授 業 者	金城 江菜
対 象 学 年	第3学年	教 科 等	国語科
単 元 名	知りたいことを考えて、質問しよう「もっと知りたい、友だちのこと」		
I C T 環 境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	友だちの話を聞いて、もっと知りたいと思ったことを相手が答えやすいように質問しよう		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	○導入：デジタル教科書をミラーリングして授業の流れを確認 ○展開：ロイロノート（シンキングツール）を活用して自分の考えをまとめる ○終末：児童のロイロノートをミラーリングして考えの共有		
指 導 の 流 れ	<p>1. 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を振り返り、話し方や聞き方を確認する。 ・提示した例題から、自分のことをまとめたシンキングツールの使い方や内容の伝え方を説明する。 <p>2. 展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでトークタイムを行う。 ロイロノートのシンキングツール（クラゲチャート）を活用して、自分のことについて伝えやすい方法で発表する。 ・友達の発表を聞いて、よかったところや分かりやすかったことを伝え合う。 <p>3. 終末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を通して、はじめて知ったことや友達のよさをロイロノートのカードにまとめる。 ・グループで話したことを基に、心に残ったことを発表する。 		
			
			
指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で、何をどの場面で使うのか明確に指示する。 (学習内容以外のことでタブレットを使わないよう、配慮が必要な子への指示) ・タブレットでまとめた内容は伝え合うために活用し、「話し方・聞き方名人」で学習したことを踏まえてグループで協働的な学びが深められるようにする。 		

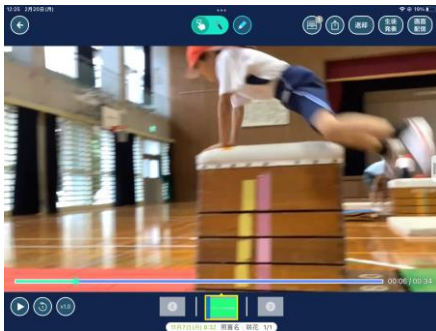
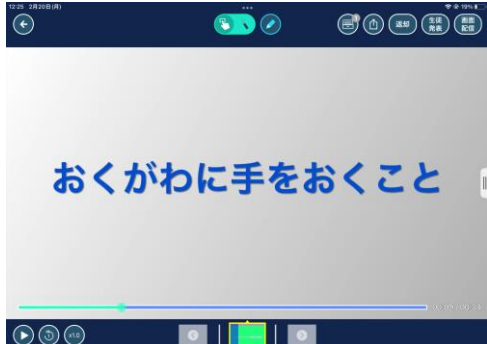
学 校 名	浦添市立宮城小学校	授 業 者	伊地 朝弘
対 象 学 年	5 年	教 科 等	社会
単 元 名	自動車の生産にはげむ人々		
I C T 環 境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	未来の車を販売するための準備をしよう。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	<ul style="list-style-type: none"> ・導入：ロイロノートを使い、前回までの復習 ・展開：自分たちの会社に分かれ、アプリ[iMovie(会社のCM) Keynote (売り出したい車の紹介) ロイロノート (会社の紹介) 共有ノート]を活用し、未来の車コンペティションの準備を行う。 ・まとめ：電子教科書での実際の会社の様子を伝え、キャリア教育に繋げ、次回の予告。 		
指 導 の 流 れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 導入 <ol style="list-style-type: none"> (1) ロイロノートで前回の復習 日本が抱える問題について 2. 展開 <ol style="list-style-type: none"> (1) めあて：未来の車を販売するための準備をしよう (2) 本時の学習 <ul style="list-style-type: none"> ○会社ごとに分かれる <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の問題から会社のコンセプト ・現代社会の問題から会社の紹介 ・現代社会の問題から売り出したい車 3. まとめ <ol style="list-style-type: none"> (1) 進捗状況を全体に共有を行い。 (2) 電子教科書での実際の会社の様子を伝え、キャリア教育に繋げ、次回の予告。 		
			
指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートの共有機能を活用し、会社ごとに共有ノートの場所作り、資料をまとめる。 ・共有ノートの様子を、クラスルームで確認を行う。 		


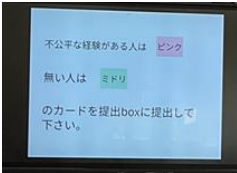




学 校 名	浦添市立宮城小学校	授 業 者	長濱 大
対 象 学 年	第6学年	教 科 等	外国語
単 元 名	My summer vacation was great.		
I C T 環 境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	夏休みの思い出を発表する準備をしよう。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板を活用してデモンストレーションを行うことで、発表のイメージをつかむ。 ロイロノートで発表用スライドの作成。 		
指 導 の 流 れ	<p>1 Greeting and Warm-up</p> <p>2 Small Talk</p> <p>3 めあての確認</p> <p>4 夏休みの思い出を発表する準備をする。</p> <p>① Activity1</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子黒板を使って音声の聞き取りを行うことで、表現の確認を行う。 <p>② Activity2</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師のモデル文（ロイロノート）を参考にして発表の仕方を確認する。 ロイロノートで、基本のスライドを作って児童に配布する。 自分の夏休みの思い出を習った表現を使ってスライドにまとめる。 <p>5 まとめ</p> <p>6 振り返り</p>		  
指 導 上 の 留 意 点	<p>○スライドを作る際に、画像を活用する児童も多くいるため、著作権について指導をしていく必要がある。</p> <p>○キーボードでのアルファベットの入力になるので、単元の中で書く活動を取り入れていく必要がある。</p>		


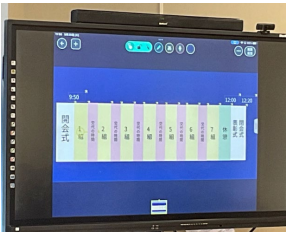

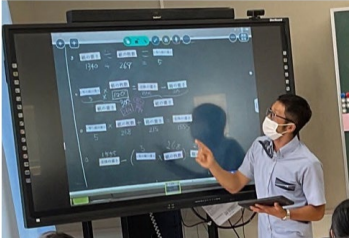
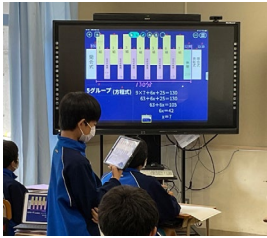
学 校 名	浦添市立沢岨小学校	授 業 者	半田 崇登
対 象 学 年	第6学年	教 科 等	国語
単 元 名	大切にしたい言葉		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	友達の文章から、読む人をひきつける工夫を見つけよう。		
ICT機器の活用場面	<ul style="list-style-type: none"> ● 電子黒板で本時の活動の仕方や、友達の作文への書き込み方を示す。 ● ロイロノートでグループの友達の作文を読んで自分の文章に生かしたい表現の工夫を見つける。 ● ロイロノートに自分の文章に生かしたい表現の工夫を提出し、学級で共有する。。 		
指導の流れ	<p>① 本時の活動の仕方や、友達の作文への書き込み方を示す。</p>  <p>② 各自でグループの友達の作文を読む。</p>  <p>③ 友達の作文の表現の工夫（青色のフォント）を見つけて、書き込みながら評価する。</p>  <p>④ 友達の作文のいいところを口頭でフィードバックする。</p>  <p>⑤ 自分の文章に生かしたい表現の工夫を選んでロイロに提出する。</p>  <p>⑥ 児童が選んだ、表現の工夫を学級で共有する。</p> 		
指導上の留意点	○長い作文を読み合う時には、「クライマックス」を赤字、「表現の工夫」を青字のフォントにしていると、読み手が視点を持って評価することができる。		

学 校 名	浦添市立沢岨小学校	授 業 者	片桐 功
対 象 学 年	第 6 学 年	教 科 等	国語
単 元 名	『ポリビアの友達へ 届け！紹介パンフレット！』 ～私たちの文化や生活をオキナワ第一日ボ学校の子ども達に伝えよう～		
I C T 環 境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	効果的に相手に伝わるように、書き表し方の工夫を用いてパンフレットの下書きを書くことができる。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	<ul style="list-style-type: none"> ● ロイロノートで作文の下書きを書く。 ● グループの共有ノートで友達の作文を見てアドバイスしあう。 ● ロイロノートに毎時間の振り返りを書く。 		
指 導 の 流 れ	<p>① 前時までの学習と本時のめあて ② 各自が、使いたい工夫とその効果の確認。「ポリビアに伝えよう」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>③ 前時に決めた割り付けを活用し ④ 効果的な書き表し方になっているか友達と交流する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>⑤ 続きを書く。 ⑥ まとめと振り返りをロイロに書</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
指 導 上 の 留 意 点	○共有ノートはデータ量が多くなると動きが遅くなる。今回の学習では一人一人が多く画像を使うため、データ量が多い。そのためグループごとの共有ノートを作成・活用する。		

学 校 名	前田小学校	授 業 者	嘉手納 良照
対 象 学 年	3 学年	教 科 等	国語科
単 元 名	きつつきの商売～読んで、想像したことを伝え合おう～		
ICT環境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad（ボイスレコーダーやロイロノート） <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
本時のめあて	家族に音読発表するために練習しよう		
ICT機器の活用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・お気に入りの場面を家族に音読発表するために、自分の音読を聞くためにボイスメモで録音する。 		
指導の流れ	<p>【導入】</p> <p>1 音読をする際に気をつけるポイントを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の様子や気持ちを想像する ・声の強弱や速さ、高さ、間の取り方を考える <p>【展開】</p> <p>2 自分の音読を聞くために、ボイスメモやロイロノートに録音する。</p> <p>3 自分の音読の録音を聞いたり、友達に聞いてもらったりして、改善する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【ICT活用の効果】 自分の音読を聞いて、練習できるため、活動の場が広がり、教師の目が届きにくくとも、主体的に学習に取り組むことができた。</p> </div>  <p>【まとめ】</p> <p>3 本時の活動の振り返りをする</p>		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・指導の評価に活かすために、録音したデータを送信してもらう。 ・声か重ならないように、ワークスペースやベランダなども活用する。 		

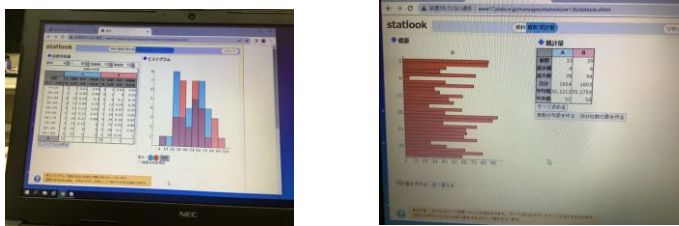
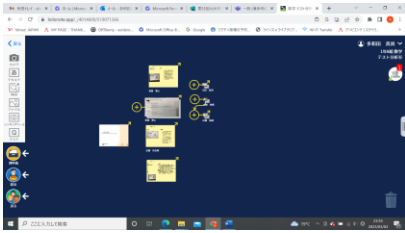
学 校 名	前田小学校	授 業 者	嘉手納 良照
対 象 学 年	3 学 年	教 科 等	体育科
単 元 名	跳び箱		
I C T 環 境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ロイロノート) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	技の解説動画を作ろう。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が解説したい技の出来るポイントと出来ないポイントの実演動画を撮る。 ・出来るポイントや出来ないポイントを紹介する動画を作る。 ・技が出来ない児童への助言材料とする。 		
指 導 の 流 れ	<p>【導入】</p> <p>1 本時のめあてや活動の流れ、ポイントを確認する。</p> <p>【展開】</p> <p>2 自分が解説したい技に必要な動画材料を集める。</p> <p>3 技の解説動画をまとめる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【 I C T 活 用 の 効 果 】</p> <p>動きを動画で確認でき、細かい点に気づくことができた。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【 I C T 活 用 の 効 果 】</p> <p>動画を見て、自分自身の修正を行うだけでなく、他の児童にもポイントを広げやすくなった。</p> </div> </div> <div style="text-align: center;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【 I C T 活 用 の 効 果 】</p> <p>動画を作成するために出来ないポイントを考えるので、体育が得意な児童が、苦手な児童の視点に立って考えることになり、思考が広がった。</p> </div> </div> </div> <p>【まとめ】</p> <p>3 本時の活動の振り返りをする</p>		
指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK教材の「体育の介」を事前に見せ、動画のイメージを持たせる。 ・解説動画は、その技が出来ていない人にも共有できるようにする。 ・給食の時間などを使って、動画を見る。 ・それぞれの技のポイントを言語化できているかを見て、評価に活かす。 		

学 校 名	浦添中学校	授 業 者	久我 秀徳
対 象 学 年	中学校 1 学年	教 科 等	道徳
単 元 名	主題名：公平とは何か 教材名：公平と不公平		
ICT環境	■電子黒板 ■iPad（ロイロノート） ■AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
本時のめあて	公平か不公平かを判断するのに大切なことはなんだろうか。		
ICT機器の活用場面	導入：ロイロノートをミラーリングしてイラストを映し話題の提供。 展開：提出BOXにてカラーカードを利用した。視覚で分かる思考の共有。 終末：カラーカードを利用した、視覚で分かる思考の変化の共有と発表。		
指導の流れ	<p>ICE BREAK: グウ、チョキ、パーゲーム（3分） （↑ 一度も授業をしたことのないクラスだったため）</p> <p>導入 イラスト3枚を見てフリートーク（←思ったことを口に出してもらおう。）（5分）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: center;">（↑ ICTの活用：ロイロノート提出BOX）</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">不公平な思いをしたことある？ ある人はピンク、無い人はミドリのカードをロイロノートの提出BOXに提出。</div> <div style="margin: 0 10px; font-size: 2em;">➔</div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本教材のA、B、Cのエピソード確認（2分） 視覚的に一瞬で意見を共有できる ・A、B、C 意見のある事例を選び、公平（ミドリ）、不公平（ピンク）のカードを提出ボックスに提出。（10分） （班の形成はせずに、周囲のメンバーとのバズ学習はうながす。） ・提出BOXの確認（5分） ↑提出BOXを利用することで、クラス全員の発表と意見の共有ができる。 <p>中心発問 ★ 公平か不公平かを判断するのに大切なこと。（10分） ノート記入と板書発表（補助発問：判断するのに、あっても良い違いって何？）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A、B、Cのエピソードに対して 気持ちが少し変わった人は、 カードを黄色に変えて再提出。 → 発表（5分） <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="margin: 0 10px; font-size: 2em;">➔</div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>終末（自分にプラス1）：不公平は、どのようにすれば解決していけるか？（5分） 今日分かったこと…、今までの自分は…、これからの自分は… → 発表2名（4分）</p> <p>SDGs（1分）</p>		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・iPadを使わないときは、iPadはカバーを閉じさせ、伏せさせる。 ・指示はシンプルにして、視覚的にも分かりやすくする。（ピンクのカードを使う指示ならピンクのハイライトを入れる。） ・資料箱は事前に準備中で作成をしておく。 		

学 校 名	浦添中学校	授 業 者	岸本恵一
対 象 学 年	1 学 年	教 科 等	数 学
単 元 名	方程式の利用		
I C T 環 境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	交代の時間をどのように方程式で求めるのだろうか。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	文章問題から方程式を立式する場面において共有ノートを使用し、図と式をつなげる活動		
指 導 の 流 れ	<p>導入</p> <p>(1)ロイロノートで合唱コンクールの写真を見せ、合唱コンクールの様子やタイムスケジュールの確認をする。</p>  <p>(2)問題提起 (交代の時間はどのように求めるのだろうか)</p> <p>展開</p> <p>(3)文章の中から、わかる情報（数量）とわからない情報（数量）を確認する。</p> <p>(4)グループに分かれて方程式を立式する。 (ロイロノートの共有ノートを使って図と方程式をつなげる)</p>   <p>(5)全体で図と立式した方程式のつながりを確認。</p>   <p>まとめ</p> <p>①わかる情報（数量）とわからない情報（数量）を確認。</p>		

	<p>②わからない情報（数量）を x とおく。</p> <p>③わかる情報（数量）から数量の関係を見つけて方程式をつくる。</p> <p>④方程式を解く。</p>
指導上の 留意点	<ul style="list-style-type: none">・共有ノートを使う時は、他のグループの図を触らないように声かけする。・図を移動させながら図と式がどのようにつながるのかを意識させる。

学 校 名	浦添市立 仲西中学校	授 業 者	普久原 朝英
対 象 学 年	中学2年	教 科 等	英語科
単 元 名	Lesson 3 Design in Our Life ~ Speak about well-designed goods in our life ~		
I C T 環 境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	何をやるものなのか英語で発表することができる。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面			
指 導 の 流 れ	<p>T→S, S→S で挨拶し、英語を話す雰囲気づくりを行う。</p> <p>To 不定詞形容詞的用法を復習。その文プラス2文でパートナーに説明する。</p> <p>教科書の内容を復習。</p> <p>画像を見て英語で説明をする。スピーキングの雰囲気を醸成する。</p> <p>Life-straw と、needle disposal container の説明を行う。</p> <p>「活動⇒指導⇒活動」を繰り返しパートナーを変えて活動を行う。</p> <p>ロイロノートを活用して振り返りシートを記入して提出する。</p> <p>振り返りシート提出後、動画をまとめて提出箱に提出する。</p>		
指 導 上 の 留 意 点			

学 校 名	神森中学校	授 業 者	多和田 真尚
対 象 学 年	1 年	教 科 等	数学科
単 元 名	データの活用		
I C T 環 境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad () <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	テスト結果を分析しよう。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	ロイロノートにて ① 共有ノートでデータを共有する ② 共有ノートで共同編集を行う ③ 提出箱を用いてグループごとの発表を共有する パソコンにて Statlook というアプリを用いて、データの分析を行う。		
指導の流れ	①グループごとに配布されたデータの分析を statlook をお用いて行う。  ②階級の幅を変えて、様々なパターンのヒストグラムを観察し、今回のデータに合ったヒストグラムや度数折れ線をさがす。共有ノートを用いて、互いのデータを共有する。  ③共有された互いのグループの発表を観察し、考察する。		
指導上の留意点	①グループ活動を行う際に、役割分担を行い、全員で活動する。 ②発表方法を具体的に提示する。 ③共有ノートをグループごとに設定し、編集まで行えるようにする。		

学 校 名	浦西中学校	授 業 者	志堅原 基貴
対 象 学 年	2年	教 科 等	保健
単 元 名	健康な生活と病期の予防② がんとその予防		
I C T 環 境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ロイロノート) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ () <input type="checkbox"/> その他 ()		
本時のめあて	がんの要因を知り、どのように予防するか考えよう。		
I C T 機 器 の 活 用 場 面	禁煙についての調べ学習に使用。 調べたことや学んだことを、事例を通して、ロイロ共有を使いグループワークで使用。 発表の際に使用。		
指 導 の 流 れ	<p>【導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> がんにについてのアンケートを通して、生徒たちがめあてを立てる。 <p>【展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> がんの要因を調べる。補足説明。 事例を通して、がんの要因を考える。 グループで事例の課題・改善を考え、発表する。 		
	<p>【まとめ】</p> <p>がんの要因には、主に5つの生活習慣が関わっていることを知り、生活習慣を見直すことができるようにする。</p>		
指 導 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から、共有ノートを使用することにより、共有ノート使用の際のルールや慣れるため、授業がスムーズにいく。 		

